

多様な生産基盤活用技術開発事業(新規)

～ 農業生産基盤の多様な価値を活用し農業振興を図るための整備技術の開発～

1. 趣 旨

- (1) 農村総合整備事業等の実施にあたっては、良好な景観の形成、自然生態系の保全、農村の伝統文化の伝承等、農業生産活動により生じる多面的機能の適切かつ十分な発揮を図りながら、地域の特性を活かし快適で魅力ある農村環境づくりを進めていくことが重要である。
- (2) 近年、環境への関心の高まりを背景に、農業生産活動と併せ、生態系の多様性の増加など、環境の保全・形成と地域農業の発展を図り、農業農村の公益的機能・効果の充実を図る取組みが芽生えている。これらは、生産基盤の多様な価値を活用する先導的な取組であり、従来の整備技術では対応が困難な各種の課題を生じている。
- (3) このため、生産基盤、水管理、営農、生態系保全、合意形成等の観点から、現地における検証等を通じて、これらの先進的な取組みに対応した生産基盤の利活用に係る整備技術等の検討・開発を行うものである。

2. 事業内容

生態系保全と農業生産を両立する先導的な取組みにおいて、作物育成に適した湛水、落水等の水利状況と生物の遡上、産卵等の生活史に適した生息環境が異なることなどの課題に対し、農業者、学識経験者等の意見を踏まえながら、現地において施設整備、管理の実践により検証を行い、作物と生物の生育条件の最適化に対応した農地・農業用施設整備・管理技術を開発する。

3. 事業実施主体等

- (1) 事業実施主体：民間団体
- (2) 補助率：定額
- (3) 事業実施期間：平成18年度～20年度

4. 平成18年度概算決定額(平成17年度予算額)

43,000()千円